



■村上市長 高橋 邦芳

皆さん、こんにちは。ご紹介をいただきました、新潟県村上市長の高橋と申します。今日はネットワーク総会、この一般公開を含めての講演会に大勢おいでいただきましてありがとうございます。また総会にあたりまして、わが村上市を紹介する機会をいただきましたこと誠にありがたく思っております。それでは少し私ども村上市の紹介をさせていただきますと思いますけれども現在画面にありますのが笹川流れという、日本海の私ども、実は村上市は58kmの日本海での海岸線を持っておりまして、そこを県立自然公園という形で景勝いただいておりますところ、それを笹川流れということで非常に多くの皆様方からおいでをいただいているところであります。次に私ども村上市の位置でありますけれどもちょうど山形県と境をいたしている新潟県北部に位置するところでございまして、面積が1174平方キロということで非常に広大な面積を有しております。その面積が日本海に接しているところが58kmということで非常に長い海岸線を持っているものですからこれから冬に向かうと冬期間の波浪は非常に容易でないという風な状況もあるわけではありますが今の時期は非常に風光明媚な趣を醸しだしております。この58kmの海岸線に重要な漁港であります

港湾の岩船港というものを持っているわけでございますけれどもこれは特定地域振興重要港湾というご指定もいただきまして、現在、にぎわい創出、観光をテーマにした港作りをやっているところでありまして、佐渡の島と新潟を挟んでありますけれども粟島浦村、これがあります。粟島浦村に向けての生活航路としての航路も有する、これが岩船港ということで、小さい港湾ではありますけれども地元で根付いたしっかりとした港作りをしているということでございます。次に私ども村上市では3つの「さけ」ということで先ほど稚内の市長さん、3つのテーマでお話されましたけれども、3つの「さけ」、ということでご紹介をさせていただいております。まず一つ目が「鮭」であります。これはちょうど市の真ん中を流れます、三面川、非常に古くから鮭漁が盛んなところでありまして、寛永の江戸時代でございますけれども、寛永で鮭の養殖に携わって、それを藩の財政を潤すために、使ったということで、これ世界初めての試みだったということでありますが、鮭が遡上する川としても知られているところであります。またサケの塩引きというものがあまして、発酵をさせるためにこれからちょうど10月の末から鮭漁が始まるわけでありまして冬寒風にさらしながら発酵をさせていくということで1年間これを食すという風な文化があるわけでありまして、それと米どころでもございまして、酒米も優秀な酒米をたくさんこさえておりまして、地元の蔵元の銘柄としては二銘柄、これが二つ目の「酒」であります。これが二つ目の「酒」でありますけれども、日本酒の蔵元が2つあるということでもあります。次が3つ目の「さけ」であります。これには頭に「な」をつけていただいて「なさけ」ということで、春に行われる人形様祭りということですね、非常に多くの皆様方から訪れていただいて町歩きを楽しんでいただいております。地元の方々はおもてなしの気持ちでおいでいただく方をお迎えしているということでもあります。これが秋の風物詩として町歩きに来ていただいております。「屏風祭り」と申します。これは今月15日まで開催をしているわけでありまして、先ほどの人形様めぐり、また、屏風祭りというこれも市の、市街地、町屋を中心に80軒あまりの町屋の皆様方にご協力をしていただいて大勢の皆様においでをいただいております。次に村上市の特産品、一部ご披露申し上げますけれども村上市の木彫堆朱（ついしゅ）でございます。非常に古式ゆかしい伝統芸能ということで、国の伝統工芸品にも指定をされております。また「しな布（ふ）」でございますが木の皮から作り上げました、布でございますけれどもこれも伝統工芸品ということで一つの市で二つ伝統工芸品を持っているところは珍しいんだというお話を聞いているわけでありまして、そのほか先ほど申しあげました、岩船港を中心

にしたところでこさえております岩船のふでありますとか、地元の村上牛でありますとか、いろいろなおいしい食材もございます。その木彫堆朱、堆朱と、木彫りと堆朱ですけれども、これの粹（すい）を凝らした山車でございますけれども、これが旧村上の市街地に19台、岩船地区、岩船港を中心とした地区に9台、瀬波の海岸沿いに6台ということであるわけですけれどもちょうど岩船港を中心にしてこの10月の18、19日ということでこの山車9台が練り歩く、こういうお祭りが開催をされます。非常に港の盛り上がりを下支えしているということで私どもこれまでもずっと長らくこの港を大切にしてきたわけでありまして、日本海沿岸につきましては北前船の海道ということで、いろいろなお付き合いもあるようでございます。これからも皆様方と手を携えてですね、しっかりとこの日本海側のネットワーク作りを頑張っていきたいと思っておりますので、何卒よろしく願いをいたします。ご清聴ありがとうございました。